

# ガイドライン作成へ動き加速

## 研究費の支援が決定

### 品質管理と社会実装へ

#### 全国石膏ボードリサイクル協議会

全国石膏ボードリサイクル協議会（太田敏則代表、事務局・二社）は3月15日、都内で第3回の会合を行い、同協議会の進める廃石膏ボードのリサイクル促進へのガイドライン策定に向けた研究が、環境省が実施する2017年度「環境研究総合推進費」の新規課題に採択されたことを報告した。

研究課題は「廃石膏ボードリサイクルの品質管理の在り方と社会実装」。サブテーマに、

1. 地盤利用の環境安全性、
2. 地盤利用の工学的ベネフィット、
3. 再生石膏粉の品質管理、
4. マテリアルフローと需要調査、
- 5.

研究課題は「廃石膏ボードリサイクルの品質管理の在り方と社会実装」。サブテーマに、

研究課題は「廃石膏ボードリサイクルの品質管理の在り方と社会実装」。サブテーマに、

研究課題は「廃石膏ボードリサイクルの品質管理の在り方と社会実装」。サブテーマに、

ガイドライン策定と社会啓蒙の5点をあげ、これらの研究結果をまとめあげ、研究の最終成果として再生石膏を安全かつ有効に使用するためのガイドラインを策定する方針。研究期間は2年間で、研究開発費は年間約3000万円（間接経費を含む）。研究分担者は5機関から8人。代表者は国立環境研究所の遠藤和人主任研究員が務める。

石膏粉の品質管理については、中間処理施設から排出される石膏の来雑物量、結晶水、粒径分布、重金属類、結晶構造などの、有効利用先に応じた品質検査プロトコルの作成を目指す。

地盤利用の品質管理については、硫化水素ガス発生の検査方法と基準値の確立や、再生石膏が使用されている地盤改良固化材によるフッ素溶出抑制、強度

増加、再泥化防止などの効果を検討していく。研究課題の終了後は、作成されたガイドラインを協議会の企業メンバーに実装し、PDCAサイクルを通して改訂を行う。環境研究総合推進費は、環境省が必要とする研究テーマ（行政ニーズ）を提示して公募を行い、広く産学民間の研究機関の研究者から提案を募り、評価委員会および分野ごとの



ガイドライン策定に向け協議

研究部会の審査を経て採択された課題を実施する、環境政策貢献型の競争的研究資金。審査では、行政ニーズの高さなどが評価された。遠藤氏は「排出量が200万円を超えると、将来を見据えた取り組みであることを評価した」と語った。